

研究機関のみなさまへ

横綱の里 福島町からの **耳よりな** お知らせ

～ **海峡の横綱** をめざす町 **福島** ～

北海道福島町は渡島半島の最南端に位置し、気候は温暖で、漁業、水産加工を主たる産業としている歴史ある町です。町の南側は津軽海峡に面しており、様々な表情を見せてくれています。

かつては、季節毎に豊かな魚介類と水産加工場でのスルメ加工とで活気に満ちた町でしたが、魚価の低迷、国民のニーズの多様化、社会経済のめまぐるしい変化といった現代においては、既存のやりかたのままではなく、創意工夫し、努力（精進）して、自ら明日を切り拓くことが必要だと考えています。

そこで、福島地域では、漁協、水産加工業者、町役場などが中心となり、地域を発展させるための計画「地域マリビジョン」をつくり、ユニークな取り組みをいろいろ行っているところです。マリビジョンでは「**地域の発展に地域外の研究者の方々の力がどうしても必要!**」そんな風に位置づけています。なぜなら、地域の人たちだけでは知識や技術に限界があるからです。ですから、そんな町に全国の試験研究機関の方々に来ていただき、広くその場を利用して頂けたら、と考えているのです。そして、その成果が少しでも地域の発展に役立ってくれるのでは……。しかし、成果自体が地域に直接関係がなくても構わないと考えています。日頃から地域外の色々なことを知ったり聞いたりしている方々が福島に居てくれたら、いろいろなお話しもできるし、多方面で地域に恩恵があるからです。

このため、福島地域ではマリビジョンの計画に基づき、**地域外の方々からのアクセスを一手に引き受ける窓口を設置**しました！窓口では下記のように、あらゆる面で**みなさまの福島での活動をサポート**します！そして、もちろんですが海等を調査実験の場として提供させていただきます。是非とも野趣あふれる道南の秘境「**福島**」を研究フィールドとしてご活用下さいませ。どうぞよろしく申し上げます。

船舶の手配

町有施設の利用

作業員の確保

漁協などの関係者との調整

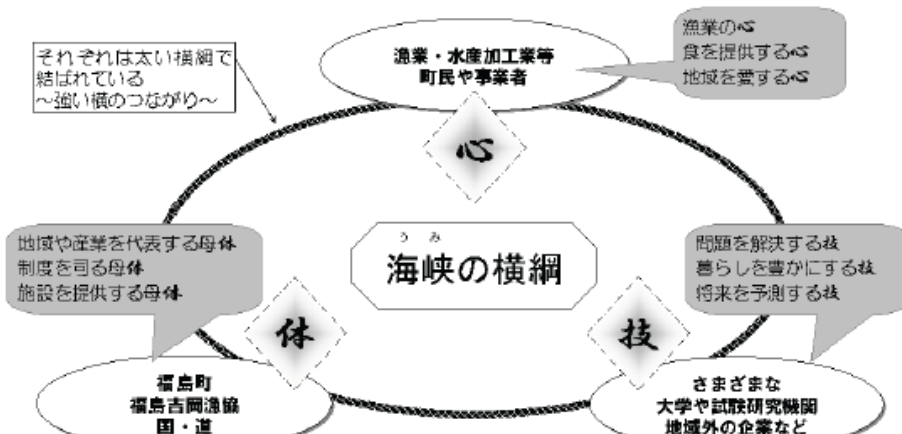
海面等の調査研究の場として活用するための手続

～ 福島地域マリビジョンのテーマ ～

海峡(うみ)の横綱をめざして ～ステップアップ福島～

脈々と流れる海峡(うみ)の恩恵にあずかり、先人から培われてきたコンブ養殖等のつくり育てる漁業とスルメづくり等の水産加工業を中心に、強くなり続ける地域を実現する。

このため、当地域が「北海道のフロンティアの地であった」という歴史的事実を受け継ぎ、先進技術や情報を有する大学等との連携を糧にあくなき挑戦とおしめない努力を続け、北海道の漁村の先駆けとなるような地域をめざす。



～ご利用頂ける主な施設～

・福島漁村改善センター（福島漁港施設用地内）

打合せや会議用の部屋があり、集会施設として利用されています。
水道・暖房設備が設けられ、宿泊も可能。
近隣商店や、コンビニエンスストアが近く買い物に便利。



・みなと交流館(福島漁港内)

1000トン級船舶の着岸が可能。
打合せや会議用の部屋があり、集会施設として利用できます。
水道・暖房設備が設けられ、宿泊も可能。



・吉岡総合センター

平成28年4月よりオープンの新施設。
打合せや会議用の部屋が多数あり、100名以上の収容ができる集会室もあります。
吉岡漁港、町営吉岡温泉のどちらからも徒歩5分ほどの位置にあります。



※約100名の収容ができるシアター室をもつ青函トンネル記念館
シンポジウムやコンベンションに利用できます。

